

Dell™ 3007WFP-HCフラットパネルモニターユーザーズガイド

モニターについて

[正面図](#)
[後方図](#)
[側面図](#)
[底面図](#)
[モニター仕様](#)
[Dell サウンドバー\(オプション\)仕様](#)
[モニターの手入れ](#)

調整可能モニター・スタンドを使う

[ケーブルを調整する](#)
[傾き、旋回および高さ調整を使う](#)

モニターを設定する

[モニターを接続する](#)
[ユーティリティ・ツールをインストールする \(Microsoft® Windows® オペレーティング・システム\)](#)
[正面パネルボタンを使う](#)
[OSDを使う](#)
[Dellサウンドバー\(オプション\)を使う](#)

問題を解決する

[全般問題](#)
[製品別の問題](#)
[USB問題](#)
[サウンドバーに関するトラブルシューティング](#)

付録

[注意: 安全指示](#)
[FCC特定情報](#)
[Dellへのお問い合わせ](#)
[モニター設定ガイド](#)

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。
© 2006 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 Dell™、PowerEdge™、PowerConnect™、PowerVault™、Dell™ Dimension™、Inspiron™、OptiPlex™、Latitude™、Dell Precision™ および Dell | EMC は Dell Inc. の商標です。Microsoft、Windows および Windows NT は Microsoft Corporation の登録商標です。Adobe は Adobe Systems Incorporated の商標で、一部の管轄区域では登録されていることがあります。ENERGY STAR は米環境保護庁の登録商標です。ENERGY STAR パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、ENERGY STAR ガイドラインに対応することを確認しました。EMC は EMC Corporation の登録商標です。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

2006年11月 Rev. A00

[目次ページに戻る](#)

モニターについて

Dell™ 3007WFP-HCフラットパネルモニターユーザーズガイド

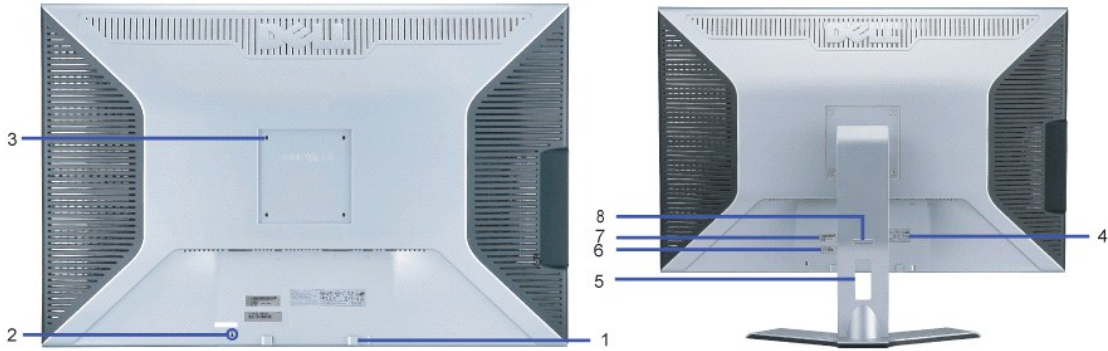
- [正面図](#)
 - [後方図](#)
 - [底面図](#)
 - [側面図](#)
 - [モニター仕様](#)
 - [Dell サウンドバー\(オプション\)仕様](#)
 - [モニターの手入れ](#)
-

正面図



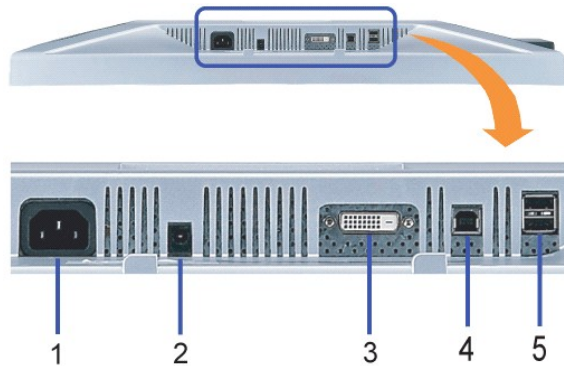
1. 明るさの減少ボタン
 2. 明るさの増加ボタン
 3. 電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)
-

後方図



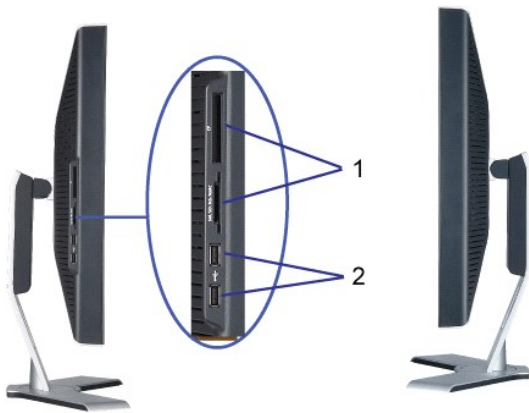
1. Dellサウンドバー取付ブラケット（オプション）Dellサウンドバーを取り付けます。
2. セキュリティロック・スロット・ロックを取り付け、モニターを固定します。
3. VESA取付ホール（100mm [取り付けたベースプレートの背面]）—これを使って、モニターを取り付けます。
4. 規制定格ラベル—規制承認を表示します。
5. ケーブル管理ホール—ケーブルをホールに通して、ケーブルの操作をしやすくします。
6. バーコード・タグラベル—Dellのテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。
7. バーコード・シリアル番号ラベル。
8. ロックダウ/取外しボタン—モニターを下方に押し、ボタンを押して、モニターのロックを解除します。次に、モニターを必要な高さまで持ち上げます。

底面図



1. 電源 - 電源に接続します。
2. Dellサウンドバー電源コネクタ（サウンドバー（オプション））を接続します。
3. DVIコネクタ—コンピュータのDVIケーブルを接続します。
4. USBアップストリーム・ポート—モニターに接続されたUSBケーブルをモニターとコンピュータに接続します。このケーブルを接続すると、モニターの側面および底面にあるUSBコネクタを使用することができます。
5. USBコネクタ—USBデバイスに接続します。このポートは、コンピュータおよびモニター上のUSBアップストリーム・ポート上にUSBケーブルを接続した後でのみ使用できます。

側面図



左側面

右側面

1. カードリーダーは、次のカードタイプをサポートします：
 - コンパクト・フラッシュ(CF I/II)
 - Microdrive
 - セキュリティ・デジタル(SD/Mini SD)
 - メモリ・スティック(MS/MS Pro, MS Pro Duo)
 - スマート・メディア(SM)
 - マルチメディア・カード(MMC)
2. USBダウンストリーム・ポート

モニター仕様

電源管理モード

VESA DPM?準拠カードまたはソフトウェアがお使いのPCIにインストールされている場合、未使用時、モニタが自動的に電力消費を抑えることができます。この機能を、「電力節約モード」*といい、キーボードまたは他の入力デバイスからの入力をコンピュータが検出すると、モニタが自動的に機能を再開します。下表は、この自動電力節約機能の電力消費および信号を表します。

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転(DellサウンドバーおよびUSBが有効になっている場合)	有効	有効	有効	青	147W(最大)
通常運転	有効	有効	有効	青	117W(一般)
無効モード	無効	無効	空白	黄色	3W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

本モニターは、ENERGY STAR®準拠で、TCO '99 電源と互換性があります。

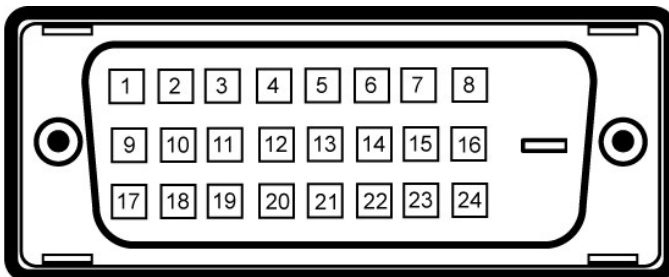



* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

ENERGY STAR® は、米国登録マークです。ENERGY STAR® パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、ENERGY STAR® ガイドラインに対応することを確認しました。

ピン割当

24PinデジタルのみDVI-Dコネクタ



 **注意:** Pin1は、上部右にあります。

下表は、DVIコネクタのピン割当を表します:

ピン	信号割当	ピン	信号割当	ピン	信号割当
1	T.M.D.S. データ2-	9	T.M.D.S. データ1-	17	T.M.D.S. データ0-
2	T.M.D.S. データ2+	10	T.M.D.S. データ1+	18	T.M.D.S. データ0+
3	T.M.D.S. データ2/4シールド	11	T.M.D.S. データ1/3シールド	19	T.M.D.S. データ0/5シールド
4	T.M.D.S. データ4-	12	T.M.D.S. データ3-	20	T.M.D.S. データ5-
5	T.M.D.S. データ4+	13	T.M.D.S. データ3+	21	T.M.D.S. データ5+
6	DDCクロック	14	+5V電源	22	T.M.D.S. クロックシールド
7	DDCデータ	15	アース(+5V用)	23	T.M.D.S. クロック+
8	接続なし	16	ホットプラグ検出	24	T.M.D.S. クロック-

ユニバーサル・シリアルバス(USB) インターフェース


このモニターは、高速認定USB2.0インターフェースをサポートしています。*




	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W(最大、各ポート)
全速度	12Mbps	2.5W(最大、各ポート)
低速度	1.5Mbps	2.5W(最大、各ポート)

USBポート:

- 1 アップストリーム-後方
- 4 ダウンストリーム-後方に2つ、左側面に2つ

 **注意:** USB2.0機能には、2.0対応コンピュータが必要です。

 **注意:** モニターのUSBインターフェースは、モニターの電源がオンになっている場合(あるいは電源セーブモードで)のみ作動します。モニターをオフして、もう一度オンにすることで、USBインターフェースが、付属の周辺機器が数秒後、通常機能に回復させます。

プラグ・アンド・プレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ・データ・チャンネル(DDC)プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データを自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニタの据付は自動です。必要な場合は、違う設定を選択できます。

全般

モデル番号 3007WFP-HC

フラットパネル

スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
画面寸法	30インチ(30インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域:	
水平	641.28 mm (25.25 インチ)
垂直	400.8 mm (15.78 インチ)
ピクセル・ピッチ	0.2505 mm x 0.2505 mm
表示角度	178°(垂直) タイプ、178°(水平) タイプ
ルミネランス出力	300 cd/m ² (タイプ)
コントラスト比	1000 ~ 1 (タイプ)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (16)エッジライトシステム、92%ワイドカラー全範囲
応答時間	12 ms 一般 (黒対白) 8 ms 平均 (グレー対グレー)

解像度

水平走査幅	49.31 kHz および 98.71kHz(自動)
垂直走査幅	60 Hz
事前設定の最適解像度	60Hzで2560 x 1600
事前設定の最高解像度	60Hzで2560 x 1600

事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ・モード	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	ピクセル・クロック(MHz)	同期種(水平/垂直)
VESA、1280 x 800	49.31	59.91	71	-/+
VESA、2560 x 1600	98.71	59.97	134.25	-/+

電気系統

ビデオ入力信号	デジタル DVI-D TMDS(デュアルリンク)、100オーム入カインピダンスで各微分線HDCPサポート付き、 して600mV
AC入力電圧/周波数/電流	100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz \pm 3 Hz / 1.6A(最大)
インラッシュ電流	120V :30A (最大)で0°C 240V :60A (最大)で0°C

物理特性

コネクタ・タイプ	DVI-D、白いコネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル: 取り外し可能、DVI-D(デュアルリンク)、固定ピン
寸法(スタンド付き):	
高さ(ランドスケープ・モードで完全拡張)	559.7 mm (22 インチ)
高さ(背景モードで圧縮/ロック)	469.7 mm (18.49 インチ)
幅	690 mm (27.16 インチ)
奥行き	200 mm (7.87 インチ)
パネル寸法: (スタンドなし)	
高さ	449.55 mm (17.7 インチ)
幅	690 mm (27.16 インチ)
奥行き	74.4 mm (2.93 インチ)
スタンド寸法:	
高さ(圧縮)	306.7 mm (12.07 インチ)
高さ(拡張)	396.7 mm (15.62 インチ)
幅	404 mm (15.9 インチ)
奥行き	200 mm (7.87 インチ)
重さ(モニターのみ)	11.38 Kg (25.07 lb)
重さ(パッケージ含む)	16 Kg (35.24 lb)

環境

温度:		
運転時		5°~ 35°C (41°~ 95°F)
運転停止時		ストレージ: -20°~ 60°C (-4°~ 140°F) 出荷時: -20°~ 60°C (-4°~ 140°F)
湿度:		
運転時		10%~80%(結露しないこと)
運転停止時		ストレージ: 5%~90%(結露しないこと) 出荷時: 5%~90%(結露しないこと)
高度:		
運転時		3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時		12,192 m (40,000 ft) 最大
熱発散		501.92 BTU/時間 (最大) 399.5 BTU/時間 (一般)

DELL サウンドバー(オプション)仕様

システム周波数応答	95 Hz ~ 20 kHz @ 10 dB 平均以下 SPL
電源出力合計	10W継続平均電源(全スピーカー運転時) @ 10% (THD+N), 1 kHz (FTC 定格)
ヘッドフォン・ジャック 出力電源	40mW継続平均電源(RL = 32Ω) @ 10% (THD+N), 1 kHz
定格出力に対する入力感度 感度	500 ± 50 mVrms @ 1 kHz
入力インピーダンス	>10kΩ
最大入力信号電圧	2 Vrms
コントロール	電源オン/オフ音量コントロール
入力ケーブル	3.0 m ± 0.1 m AWG26黒ケーブルエンクロージャに付属、3.5mmライン緑ステレオプラグ付き
電源要件	DC12V、1.5A +/-10%
運転時温度幅	10°C ~ 40°C
湿度、非圧縮	95% RH @ 40 °C

モニターの手入れ



警告: モニターの洗浄前には、[安全指示書](#)を読み、したがってください。



警告: モニターの洗浄前には、電源コンセントからモニタープラグを外してください。

- 1 静電気防止スクリーンを洗浄するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン洗浄ティッシュまたは静電気防止コーティングに適合した溶液を使用してください。シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- 1 軽く湿らせた、暖かい布を使って、プラスチックを洗浄します。洗剤には、プラスチック上に乳膜を残すものがありますので、使用は避けてください。
- 1 モニターを外したときに白い粉末がある場合は、布で拭きとってください。この白い粉末は、モニターの出荷時に発生します。
- 1 暗いプラスチックは、明るいプラスチックより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取扱には注意してください。
- 1 モニターの最高の画像品質を保てるように、ダイナミックに変化するスクリーンセーバーを使用し使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

付録

Dell™ 3007WFP-HCフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド


- [注意: 安全指示](#)
- [FCC通知\(米国のみ\)](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)
- [モニター設定ガイド](#)

注意: 安全指示

 **警告:** このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。

コンピュータのモニターを接続して使用するときは、これらの指示書を読み、従ってください。

- 1 コンピュータの損傷を避けるために、コンピュータの電源装置の電源選択スイッチが地域でご利用になれる交流(AC)電源に一致するように設定されていることを確認してください。
 - 115ボルト(V)/60ヘルツ(Hz) – 北米、南米、東アジア地域(日本、韓国(220ボルト(V)/60ヘルツ(Hz)も使用)、および台湾)。
 - 230ボルト(V)/50ヘルツ(Hz) – ヨーロッパ、中東、極東の大半。
- 1 モニターが地域で使用できるAC電源で動作するように、電氣的に定格されていることを常に確認してください。

 **注:** このモニターは、AC電圧入力を設定するための電圧選択スイッチを必要としません。ユーザーズガイドの「電氣的仕様」で定義した範囲に従って、AC入力電圧を自動的に受け入れます。

- 1 熱、直射日光、または極端な低温にさらされる場所でモニターを保管したり、使用したりしないでください。
- 1 大きな温度差がある場所で、モニターを移動しないでください。
- 1 モニターを激しい振動や強い衝撃にさらさないでください。例えば、モニターを車のトランクに収納しないでください。
- 1 高い湿度や埃っぽい環境にさらされる場所で、モニターを保管したり使用したりしないでください。
- 1 水やその他の液体をモニターの上や内部にこぼさないでください。
- 1 フラットパネルモニターは、室温条件で保管してください。極端な高温や低温は、ディスプレイの液晶に悪い影響を与えることがあります。
- 1 モニターの開口部に金属物質を挿入しないでください。感電の危険があります。
- 1 感電する恐れがあるため、モニターの内部に触れないでください。モニターのケースは、専門技術者だけが開けることができます。
- 1 電源ケーブルが損傷した場合は、絶対にモニターを使用しないでください。コンピュータのケーブルの上に物が置かれていないこと、またケーブルを通行の邪魔になるように配線されていないことを確認してください。
- 1 コンセントからモニターを取り外すときは、ケーブルではなく、必ずプラグをつかむようにしてください。
- 1 モニターのキャビネットの開口部は、換気のために設けられています。過熱の原因となるため、これらの開口部を塞いだりカバーをかけたりにしないでください。ベッド、ソファ、ラグ、またはその他の柔らかい表面でのモニターの使用は、キャビネット底面の換気用の開口部が塞がれることになるため、避けてください。モニターを本箱や囲まれた空間に設置する場合、適切な換気と空気の流れがあることを確認してください。
- 1 モニターは、湿度が低く埃の少ない場所に設置してください。湿った地階や埃っぽい通路などには設置しないでください。
- 1 モニターを雨にさらしたり、(台所、水泳プールの傍など)水気のあるところで使用しないでください。モニターに誤って水がかかった場合、直ちにコンセントを抜き、正規代理店にご連絡ください。清掃の必要があるときは、まずモニターのプラグを抜き、湿った布で拭いてください。
- 1 モニターはしっかりと表面に置き、注意して取り扱ってください。スクリーンはガラス製で、落としたり打ち付けたりすると簡単に傷が付きまします。
- 1 モニターは、コンセントのすぐ傍に設置してください。
- 1 モニターが正常に作動しない場合、特に、異常な音や匂いがする場合は、直ちにプラグを抜き、正規代理店またはサービスセンターに連絡してください。
- 1 背面カバーを取り外さないでください。感電の恐れがあります。背面カバーは、専門技術者しか開けることはできません。
- 1 高温が問題の原因となることがあります。モニターを直射日光のあたるところで使用したり、ヒーター、ストーブ、暖炉、その他の熱源の傍に設置しないでください。
- 1 長期間使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- 1 修理を行う場合は、必ずコンセントからモニターのプラグを抜いてください。
- 1 使用済製品の回収につきまして



上記PCリサイクルマークが表示されている当社製品は、当社が無償で回収・再資源化いたします。
なお、PCリサイクルマークが表示されていない当社製品は、有償にて回収・再資源化となりますので、ご了承ください。
詳細は、以下のURLをご覧ください。

<個人のお客様><http://www1.jp.dell.com/content/topics/sectopic.aspx/environment/main?c=jp&l=jp&s=corp&-section=personal>

<法人のお客様><http://www1.jp.dell.com/content/topics/sectopic.aspx/environment/main?c=jp&l=jp&s=corp&-section=corporation>


FCC通知(米国のみ)

FCCクラスB

本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます。

- 1 電波障害を起こさないこと。
- 2 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されずすべての電波障害に対して正常に動作すること。

 **通知:** FCC規制ではDell™ Incで明示的に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があることを規定しています。

これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。


- 1 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 1 本装置と受信機の距離を離す。
- 1 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。

必要に応じて、Dell Inc.の代理店、またはラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

次の情報は、FCC規制に準拠して本書で取り上げられるデバイスで提供されます。

- 1 製品名: 3007WFPT
- 1 モデル番号: 3007WFPT
- 1 会社名:


Dell™ Inc.
世界的法規制遵守および環境問題。
One Dell™ Way
Round Rock, Texas 78682 USA
512-338-4400

 **注:** 詳細な規制情報については、**製品情報ガイド**を参照してください。


Dellへのお問い合わせ

インターネット上でのDellへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- 1 www.dell.com.jp
- 1 support.dell.com (テクニカルサポート)

 **注:** 一部の国では、別に表示されている電話番号で Dell Inspiron™ XPS コンピュータ専用のテクニカルサポートをご利用いただけます。Inspiron XPS コンピュータ専用の電話番号が表示されていない場合は、表示されているテクニカルサポートの番号でDellに電話をかけると、担当者に転送されます。

Dellへお問い合わせになる場合、次の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

 **注:** 提供された連絡先情報は、このドキュメントが印刷された時点で正しいものとみなされ、予告なしに変更することがあります。

国(市) 国際電話アクセス コード 国番号	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび E-メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本(川崎)	Web サイト: support.jp.dell.com	
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポート(海外から)(サーバー)	フリーダイヤル: 0120-198-498
国番号: 81	テクニカルサポート(サーバー)	81-44-556-4162
市外局番: 44	テクニカルサポート(Dimension™ および Inspiron™)	フリーダイヤル: 0120-198-226
	テクニカルサポート(海外から)(Dimension™ および Inspiron™)	81-44-520-1435
	テクニカルサポート(Dell Precision™, OptiPlex™, および Latitude™)	フリーダイヤル: 0120-198-433
	テクニカルサポート(海外から)(Dell Precision™, OptiPlex™, および Latitude™)	81-44-556-3894
	テクニカルサポート(PDA, プロジェクター, プリンター, ルーター)	フリーダイヤル: 0120-981-690
	テクニカルサポート(海外から)(PDA, , プロジェクター, プリンター, ルーター)	81-44-556-3468
	Fax情報サービス	044-556-3490
	24時間お届け予定案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240

ビジネスセールス本部(従業員数400人未満)	044-556-1465
法人営業本部(従業員数400人以上)	044-556-3433
官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-5963
デルグローバルジャパン	044-556-3469
個人のお客様	044-556-1760
代表	044-556-4300

モニター設定ガイド

PDFファイルを表示する(.pdf 拡張付きファイル)には、ドキュメント・タイトルをクリックします。PDFファイル(.pdf拡張付きファイル)をハードドライブに保存するには、ドキュメント・タイトルを右クリックして、Microsoft® Internet Explorer で **名前を付けて保存** をクリックするか、または Netscape Navigator で **名前を付けてリンクを保存** し、次にファイルを保存する先のハードドライブの場所を指定します。

[モニター設定ガイド \(.pdf\)](#) (11 MB)



注: PDFファイルには、Adobe® Acrobat® Reader®が必要です。Adobeウェブサイトからダウンロードできます。
PDFファイルを表示するには、Acrobat Readerを起動します。次に、**ファイル** -> **開く** をクリックして、PDFファイルを選択します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

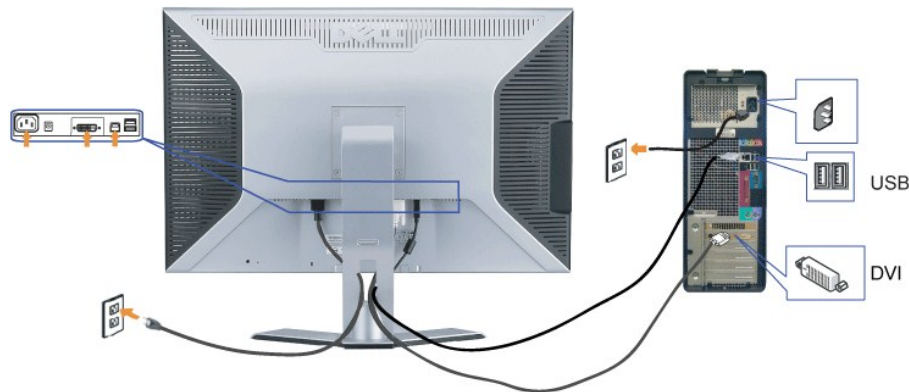
モニターを設定する

Dell™ 3007WFP-HCフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [モニターを接続する](#)
- [ユーティリティ・ツールをインストールする \(Microsoft® Windows® オペレーティング・システム\)](#)
- [正面パネルボタンを使う](#)
- [OSDを使う](#)
- [サウンドバー\(オプション\)を使う](#)

モニターを接続する

警告: このセクションで手続きを始める前に、[安全指示書](#)にしたがってください。



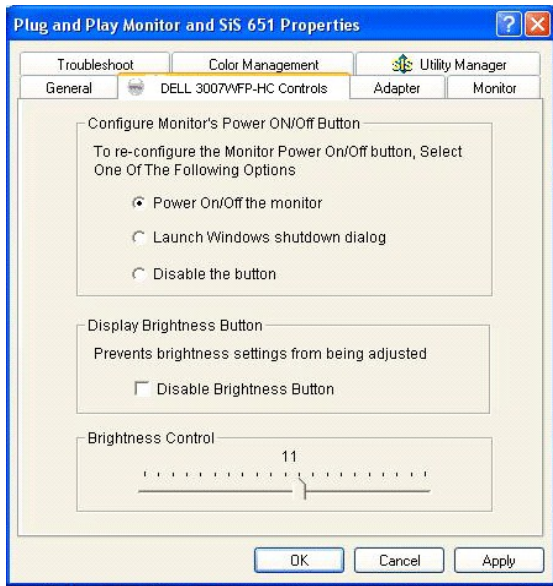
1. コンピュータの電源をオフにして、電源コードを外します。
 2. モニターに取り付けられた DVI ケーブルの白いコネクタ端をコンピュータのコネクタに接続します。
 3. モニターに付属しているUSBケーブルをコンピュータおよびモニター上のアップストリームUSBコネクタに接続します。このケーブルをコンピュータおよびモニターに接続すれば、モニター上のUSBストリームを使用できます。
 4. USBデバイスを接続する。
 5. 電源コードを接続する。
 6. モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。画像が映らない場合は、モニターのトラブルシューティングを参照してください。[トラブルシューティング](#)。
- 注意:** DVIカードを接続していない場合、モニタには白、黒、赤、緑、青色のローリングパターンで全画面表示されます。モニタがPCのDVIケーブルが接続されていないことをモニタが検出すると、このテストパターンが連続表示されます。

ユーティリティ・ツールをインストールする (Microsoft® Windows® オペレーティング・システム)

CD で提供される setup.exe アプリケーション ツール ランチャーでは、コンピュータにユーティリティ ツールをインストールします。この機能はモニターに明るさのパラメータを問い合わせ、画面に調整範囲バーを表示します。

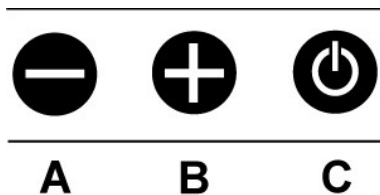
1. CD をCDドライブにセットします。
2. **ドライバ**フォルダを開き setup.exe をダブルクリックします。
- **注:** USB ケーブルが、モニターとコンピュータに接続されていることを確認します。
3. インストール シールド ウィザードが適切なツールを起動します。次へをクリックして、続行します。
4. **使用許諾契約書**を選択し、**次へ**をクリックします。
5. **インストール**をクリックし、インストールを完了します。インストールが完了したら、**終了**をクリックします。



コンピュータで明るさを調整している間に、調整範囲バーを表示することができます。




正面パネルボタンを使う

モニタ前面のボタンを使用して画像設定を調整します。





 <p>ダウン (-) およびアップ (+)</p>	<p>- または + に触れて、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) をアクティブにします。</p> <p>次のボタンを使用して、明るさの範囲を増加したり減少したりします。</p>
 <p>電源ボタンとインジケータ</p>	<p>電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。</p> <p>青のライトは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。別のライトは、電源セーブ・モードを表します。</p>

OSDを使う

 注: 調整を行う場合、モニターは行った調整を自動的に保存します。

1. - または + に触れて、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) をアクティブにします。
2. - および + ボタンに触れて、必要なパラメータを選択します。

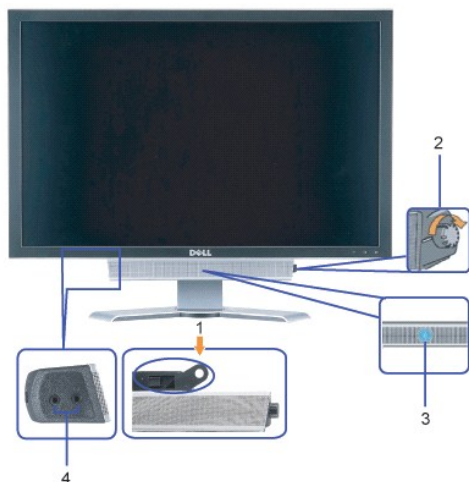
アイコン	明るさバー	説明
	明るさ	<p>明るさで、モニターのルミネンスを調整します。</p> <p>+ボタンを押して、ルミネンスを上げるか、-ボタンを押して、ルミネンスを下げます(最小0~最大20)。</p>

 注: OSD は USB のアップストリームを通して PC アプリケーション F/W を生成し、USB ケーブルがしっかり接続していることを確認します。



Dellサウンドバー(オプション)を使う

Dellサウンドバーは、モニターに装備できる4スピーカー、2チャンネルスピーカーです。サウンドバーには次のものが配置されています: 全体システム・レベルを調整する回転音量とオン/オフ・コントロール、電源表示用の緑LEDおよびオーディオ・ヘッドセット・hジャック2つ



1. 機器を固定する
2. 電源/音量調節
3. 電源インジケータ
4. ヘッドフォン・コネクタ

モニターにサウンドバーを取り付ける



注意: サウンドバー電源コネクタを他のデバイスとともに使用しないでください。

1. モニター底部の2つのタブで、サウンドバー上のスロット2つを調整することで、サウンドバーを固定します。
2. 正位置にカチッとハマるまで、スライドバーを左にスライドさせます。
3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。
4. 緑ステレオ・プラグをサウンドバーからコンピュータのオーディオ出力コネクタに差し込みます。


[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

問題を解決する

Dell™ 3007WFP-HCフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [全般問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [USB 問題](#)
- [サウンドバーに関するトラブルシューティング](#)

 **警告:** このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#)にしたがってください。

全般問題

次の表には、考えられるモニターに関する全般的な問題情報が記載されています。

一般症状	現況	解決方法
ビデオなし/電源LED オフ	画像なしまたはモニターが無効	<ul style="list-style-type: none">1 ビデオケーブルの両端の接続統合をチェックします。1 モニターとコンピュータが、通電している電源コンセントに接続されていることを確認します。 モニターを接続する1 電源ボタンが完全に押してあることを確認します。
ビデオなし/電源LED オフ	画像なし、または明るさが低い	<ul style="list-style-type: none">1 明るさコントロールをアップします。1 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。1 ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。1 コンピュータとモニターをリポートします。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている	<ul style="list-style-type: none">1 ビデオ拡張ケーブルを外します。1 モニターリセットを行います。1 ビデオ解像度を下げるか、フォント・サイズを大きくします。
ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none">1 モニターリセットを行います。1 環境係数をチェックします。1 場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCDスクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none">1 サイクル電源オン-オフ。1 これらは、永久にオフになっているピクセル、およびLCD技術で発生する自然な欠陥です。
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none">1 モニターリセットを行います。1 明るさコントロールを調整します。
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none">1 モニターリセットを行います。
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none">1 モニターリセットを行います。1 [セーフティ・モード]で起動します。
LCDに傷が入っている	スクリーンに傷やスマッジが入っている	<ul style="list-style-type: none">1 モニターの電源をオフにして、スクリーンを洗浄します。1 洗浄方法については、モニターの手入れを参照してください。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none">1 トラブルシューティング手順を実行しないでください。1 モニターの交換が必要です。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none">1 モニターが適切なビデオ・モードになっていることを確認します。1 コンピュータおよびパネルへのビデオケーブル接続がしっかりされていることを確認します。1 モニターリセットを行います。
画像の解像度(聖しか像から)	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示されます	<ul style="list-style-type: none">1 電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニターの電源をオフにしてください。また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します。長期間モニターに残ります。

製品別の問題

特定の症状	現況	解決方法
画像を表示できません / 2560 x 1600 解像度のみを使用できます	ブランク画像または低解像度ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none">1 デュアル DVI をサポートする推奨グラフィックスカードが取り付けられていることを確認します。

モニターの明るさを調整している間、明るさの OSD を表示することはできません	モニターの明るさは変わりますが、OSD は表示されません	1 Microsoft® Windows® オペレーティング システムを使用している場合、CD に付属するアプリケーション ツールをインストールしてください。詳細については、ユーティリティ ツール (Microsoft® Windows® オペレーティング システム) のインストールを参照してください。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	モニターの明るさ設定は変更されません	1 モニターの電源をオフにして、電源コードを外します。電源コード ジャックを差し込み、電源をオンにします。

USB問題

特定の症状	現況	解決方法
USBポートが動作していない	USB周辺機器が動作していない	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニターの電源がオンになっているかをチェックします。 1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 1 USB周辺機器をダウンストリーム・コネクタに再接続します。 1 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 1 コンピュータがUSB2.0互換かどうかをチェックします。 1 コンピュータのUSB2.0ソースを確認します。 1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。 1 USB周辺機器をダウンストリーム・コネクタに再接続します。

サウンドバーに関するトラブルシューティング

一般症状	現況	解決方法
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない-電源インジケータがオフになっている。 (内臓DC電源:例.3007WFP-HC)	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーの電源/音量ノブを中間位置に対して時計回りに回します。サウンドバー正面の電源インジケータ (緑LED) が点灯するかどうかを確認します。 1 サウンドバーからの電源ケーブルがモニターに差し込まれていることを確認します。 1 モニターの電源が入っていることを確認します。
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている-電源インジケータがオンになっている。	<ul style="list-style-type: none"> 1 オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 1 コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します(例.オーディオCDまたはMP3)。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤー)。
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います。	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。 1 オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。 1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤー)。
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います。	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 オーディオ・ソースの音量を下げます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。 1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール(L-R)を中間に設定します。 1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。 1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤー)。
低音量	音量が低すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。 1 サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。 1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。 1 オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。 1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例.ポータブルCDプレイヤー)。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

調整可能モニター・スタンドを使う

Dell™ 3007WFP-HCフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [ケーブルを調整する](#)
- [傾き、旋回および高さ調整を使う](#)

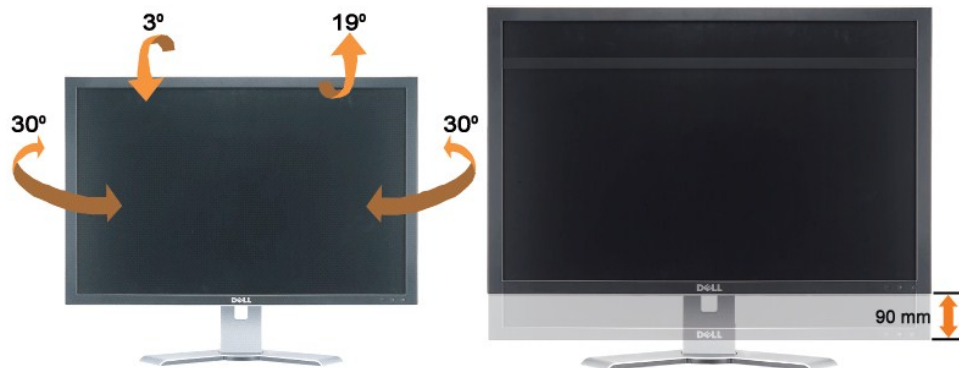
ケーブルを調整する




モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください) 上記のとおり、ケーブル・ホルダを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

傾き、旋回および高さ調整を使う

モニタを調整して、傾斜、旋回および高さ調整オプションを使って、最適な表示設定をすることができます。



スタンドは、スタンド・ロック/解除ボタン最大90mm(3.54 インチ)まで、垂直に調整できます。モニター後ろのスタンド・ロック/解除ボタンを押して、次にスタンドを必要な位置まで持ち上げたり、または下げたりします。

 **注:** モニターを新しい場所に移動する前に、カチッと音がして正位置に収まるまでモニターを下ろして、スタンドをロックします。

[目次ページに戻る](#)